

## D—8 女子学生の基礎体温に関する研究（第3報）

山形大 長岡 佑

1. 前回までは女子学生100名の、松本・大倉両氏によるBBT型分類と、飯塚・吉田両氏によるBBT型分類とを比較検討し、前者によるBBT型別、ABO式血液型別にそれぞれ、周期日数、回数、持続日数の特徴を検討したが、今回も同様同氏によるBBT型別、ABO式血液型別に月経随伴症状の特徴を検討した。

2. 前回と同じ

3. (1)随伴症状の頻度をみると、認めるもの95%、認

めないもの 5%である。(2)認めないものを学年別にみると、2年次が多く、次3、4の順、BBT型別では、IV型が多く、通学方法別では、徒歩のものに多く、血液型別では、AB型が多い。(3)認めるものの中で症状の頻度を学年別にみると、4年次が少なく、次2、3の順、BBT型別では、III、IV型が多く、通学方法別では、自転車のもが多く、血液型別では、AB型が多い。(4)症状の出現時期をみると、月経前が最も多く、次が月経時、次が月経後である。月経前では1～2日前が最も多く、次が3～4日前、次が排卵日に相当すると思われる14日前である。月経後では1～2日後が多い。(5)症状による出現時期の差をみると、月経前1～2日では下腹部痛、3～4日前では乳房痛、14日前では帯下が多い。月経時では下腹部痛が最も多く、月経後1～2日では帯下が多い。(6)月経周期と症状との関係は頻発のもが多く、次稀発となっている。(7)初潮年齢と症状との関係は、早いものと遅いもののが多くなっている。